

沖縄県平和祈念資料館だより

開館10周年を迎えてー沖縄のこころを世界へー

沖縄県平和祈念資料館は、平成12年4月1日のリニューアルオープンから10周年を迎えました。この間、「沖縄の歴史的体験と、平和への教訓を次代に継承する」「沖縄の視座から平和を発信する」という二つのねらいを持って、「県民をはじめ多くの方々に身近に感じてほしい」と展示活動を中心に様々な平和推進活動を展開してきました。平成23年2月末までの常設展示観覧者は451万9,469人で、そのほかの活動にも多くの方の参加・協力をいただきました。

教育普及活動における県内小中学校の参加・協力は平和発信の大きな力となっており、資料提供や戦争体験収録への協力などは資料収集等活動の支えとなっています。また、博物館学芸員実習や各種研修、児童・生徒の職場体験の場として活用いただいていることは、当館活動を効果的に広報・周知することに役立っています。さらに、JICA沖縄国際センターによる支援(当館が培ってきた平和博物館活動の知識・技術をカンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館へ伝える活動への支援)は、平和発信活動を大きく発展させる契機となりました。

今年度は、「沖縄のこころを世界へ」と題して開館10

周年記念特別企画展を開催し、その関連催事として①沖縄市立諸見小学校、名城大学などの格別の協力を得て、「新しい平和教育授業の提案 平和教育の公開授業とシンポジウム」、②(社)沖縄県対米請求権事業協会の強力な支援を得て、特別企画展開催期間中の毎週末に県民が出演する県民参加型の「平和音楽祭」(35個人・団体689名が出演)、③NAHAマラソン事務局と、ジョガーで散歩画家として知られる間宮健二氏の理解と協力を得て、マラソンコースのスケッチと沖縄戦体験者の証言などを組み合わせた「NAHAマラソンの道～走る道逃げる道～」展を開催しました。

このように、当館は多くの方々のご協力、ご支援を得て活動してきましたし、これからも多くの皆様と連携協力して、より視野を広げた様々な平和推進活動を展開していきたいと考えています。多くの皆様からいただいたご協力に感謝するとともに、10年のあゆみを踏まえ、沖縄のこころを世界に発信していく決意を新たにしている職員一同です。

沖縄県平和祈念資料館長 館長 大川 芳子



開館10周年記念特別企画展の開催報告

「沖縄のこころを世界へー過去をつたえ 現在をみつめ 未来をひらくー」をテーマに、開館10周年を記念した特別企画展を当館では平成22年10月10日(日)～平成22年12月28日(火)、八重山平和祈念館においては、平成23年1月19日(水)～平成23年2月26日(土)までの期間開催いたしました。

展示は3部で構成され、第1部では、沖縄県立平和祈念資料館(旧館)の時代を含めた当館のこれまでのあゆみと現在の活動、県の平和行政の取り組み等について紹介しました。

第2部では、当館が所蔵する約2万点の資料の中から、学校で平和学習の教材として効果的に使えると考えられる資料を100点に厳選し、紹介しました。赤紙と呼ばれる「臨時召集令状」や軍隊に召集されていく時に立てられた「出征幟」、捕虜収容所で書かれ

た「沖縄戦記」など貴重な資料も多数展示され、観覧者の関心を集めました。

第3部では、子どもたちに平和について考えてもらうために、当館学芸員が工夫して製作した手づくり展示資料をはじめ、情報ライブラリーの活用方法、手づくりの国際貢献活動、児童・生徒の平和メッセージ最優秀図画作品の展示を行い、戦争体験の継承を通じたこれからの平和創造のための活動を紹介しました。

開催期間中、多くの方々にご来場いただきました。10周年という節目の年に、改めて当館の取り組みや活動について知っていただく良い機会となりました。



本館の開会式(10月10日)



観覧風景

沖縄戦講座の報告

日 時:平成22年12月11日(土)午後2時～4時15分
場 所:沖縄県平和祈念資料館 2階会議室
講 師:大城将保氏(元県立博物館館長、作家)
演 題:～沖縄戦の実相・教訓・継承・発信～
受講者:83名

開館10周年記念特別企画展「沖縄のこころを世界へ」(平成22年10月10日～12月28日)の期間中に関連催事として沖縄戦講座を開催しました。琉球王国成立から、琉球処分、沖縄戦そして戦後復興、戦跡保存、教科書問題等幅広い内容をたくさんの写真映像を使用しながらのわかりやすい講話でした。沖縄戦の実相から得た教訓をきちんと継承し、沖縄から「平和のメッセージ」を世界へ発信していく必要性を強調しました。次年度も企画展に関連した講座を予定していますので、多くの方々の受講をお待ちしています。



大城将保氏の講演

JICA連携事業「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力報告

平成21年度から23年度までの計画で始まった、当館の「平和博物館」活動のノウハウをカンボジア国立トゥール・スレン博物館へ伝える「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」の2回目の研修が、平成22年10月12日から11月5日までの約1ヶ月間行われました。

トゥール・スレン博物館は、1975年から78年にかけてのポル・ポト政権下で住民が収監され、拷問された刑務所がそのまま保存された、カンボジアの現代史の悲劇を伝える博物館です。この事業は、同館が平和博物館として活動していくための人材育成を支援するという当館の提案をJICAが採択し、JICA沖縄国際センターと連携して行っているものです。

今回は同館から3名のスタッフを招き、効果的な展示方法、資料保存、平和教育普及活動、移動展示会の開催方法などの研修を行い、八重山農林高校、糸満高校、糸満中学校において同館スタッフに

よる平和講話も実施しました。また、平成23年2月13日から27日まで当館職員2名が同館に赴きフォローアップ研修を行いました。



研修員による平和講話の様相(八重山農林高校にて)

博物館学芸員実習

平和祈念資料館では、県内外の大学の要望に応じて、学芸員資格取得のための実習を受け入れております。具体的には資料収集・保存活動、調査研究活動、展示活動、教育普及活動などいわゆる学芸業務全般についての研修を集中的に行います。この実習は、学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供するものです。特に本年度は、従来の活動に加えて子ども・プロセス展示のミニ企画展の提案を実習期間中に課題とし、最終日に発表会を開催しました。実習生3名とも魅力的な展示会案を作成してくれました。

[期間]

平成22年8月5日(木)～8月13日(金) 土日を除く

[内容]

- (1) 資料整理・分類・登録
- (2) 展示準備・企画展への参加
- (3) 野外実習(近隣の戦跡、類似館の見学)
- (4) 調査研究
- (5) 子ども・プロセス展示の魅力づくり

「企画展の提案」

[実習生]

沖縄国際大学3名(宇根一磨さん、新垣真弓さん、小川 結さん)



学芸員実習の「子ども・プロセス企画展」発表会の様相

平成22年度 資料貸出状況

平成22年度の資料(実物資料・写真・沖縄戦の絵)貸出は、県内10団体93点、県外32団体499点、合計42団体592点でした。昨今は、県外の公共団体や学校からの申請が年々多くなってきており、年月が経た今、沖縄戦に対する関心度が高くなっていると思われます。

沖縄県平和祈念資料館では、実物資料や沖縄戦写真パネル以外にも、戦争体験者が描いた「沖縄戦の絵」パネル(52点)、戦争体験者証言集、児童・生徒の平和メッセージ展入選作品パネル、また世界人権宣言絵画パネル(一式35点)なども貸出ししておりますので、これらの資料も県内外において平和学習にご活用いただきたいと思っております。

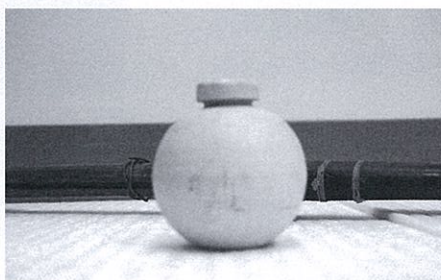
平成22年度 寄贈品紹介

沖縄県平和祈念資料館では、戦争を知らない多くの戦後世代へ、悲惨な戦争の教訓を語り継いでいくために、戦争関係の資料や戦前・戦中・戦後の資料の提供を呼びかけています。平成23年2月末現在で寄贈をいただいたのは、10名の皆様からの方々から15件88点でした。これらの資料は、平成23年6月に開催予定の新収蔵品展で一般公開をいたします。一般公開により、さまざまな情報提供につながることで今後の活用や保存に大きな効果が生まれます。

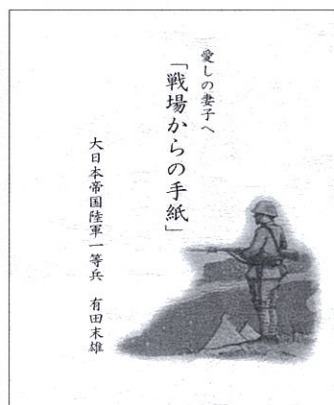
書籍に関しては、当館の情報ライブラリーで閲覧できますのでご利用下さい。当館はこれからも、戦前・戦中・戦後の資料のご寄贈ならびにご寄託の収集事業を継続してまいりますので、ご協力下さいますようお願いいたします。



並里明達氏より日露戦争関係書類・証書等



グアイム・ポール氏よりセミック製手榴弾



有田澄郎氏より戦場から家族へ宛てた手紙

第21回児童・生徒の平和メッセージ(図画・作文・詩)作品募集要項

1 募集対象

沖縄県内の小・中学校及び高等学校、高等専門学校、特別支援学校の児童・生徒

2 応募方法

<各部門共通>

- 作品はすべて所属の学校を通して応募する。
- 図画・作文・詩ともに未発表作品で、各分野につき一人一点とする。
- 学校名、学年、氏名(フリガナ)、題名を必ず応募ラベルに記入する。

<図画部門>

- 市販の画用紙(四つ切り、38cm×54cm)を使用する。
- 画材、表現方法等は自由であるが、立体作品は避ける。
- 図画には文字のメッセージは入れない。

<作文部門>

- 原稿用紙は、400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙を使用する。
- 小学校低学年は原稿用紙2枚程度、小学校中学年は3枚程度、小学校高学年は4枚程度、中学生及び高校生は5枚程度とする。作品は清書して提出する。

<詩部門>

- 原稿用紙は、400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙を使用する。
- 枚数は特に指定しない。作品は清書して提出する。

3 募集期間

平成23年5月1日(日)～5月25日(水)

4 作品の送り先

〒901-0333
糸満市摩文仁614番地1
沖縄県平和祈念資料館
(電話:098-997-3844
FAX:098-997-3947)



平成22年度図画部門 小学生の部
最優秀賞
与那国町立与那国小学校3年
西川 夢乃

開館10周年関連催事 平和音楽祭2010

開館10周年を記念し、とりわけ県民が資料館に足をはこんでもらうための催事を様々取り組みました。その一つが平和音楽祭2010です。この事業は、社団法人対米請求権事業協会、沖縄平和祈念堂、糸満観光農園、当館の四者で平和文化の創造N沖縄摩文仁実行委員会を組織し、企画運営をしました。そのコンセプトは、この摩文仁の大地に県民が参加し、沖縄戦の実相を触れ学ぶことを通して、平和を讃歌する創造の歌を発信することを目的としました。開催期間は10月10日～12月18日の毎土日曜日午後3時～4時まで、当館の平和祈念ホールを会場に開催しました。アマチュア、プロ、各地の少年少女合唱団、老人福祉センターの利用者、老若男女が多数参加しました。公演の数は20回、延べ出演者数は35個人・団体689名。延べ入場者は1,794名を数え、多くの感動が生まれました。



沖縄三育中・広島三育高のハンドベルクワイヤー



那覇市の3つの老人福祉センターのコラスグループ



名護少年少女合唱団



フォーシスターズ

平成22年度 沖縄県平和祈念資料館講習会

当館への案内業務に携わっている旅行・観光等の関係機関に携わる方々に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容等について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施しました。

〈日 時〉平成23年2月17日(木) 13:00～16:00

〈場 所〉沖縄県平和祈念資料館 会議室

〈対 象〉タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア・
観光等関係者

〈講習内容〉平和祈念公園及び資料館施設説明・

展示内容・沖縄戦の特徴

〈参加者〉30名



講習会沖縄戦の講話

八重山平和祈念館 平成22年度 事業実施報告

(1) 夏休み平和学習会

●期間:平成22年7月21日(水)～8月31日(火)

夏休みの平和学習会として、平和や人権に関する自由研究相談会を実施しました。体験学習コーナーでは、①平和のちぎり絵を作ろう②世界のマラリアについて学ぼう をテーマに、たくさん子どもたちが平和の尊さやマラリアの世界の状況について考えました。

また、夏休み企画として8月29日(日)に戦争マラリア遺族会を中心に「戦争マラリア避難所めぐり」を開催しました。参加者約30名が当時の避難地を訪れ体験者の証言に耳を傾けました。



(2) 人権企画展「わたしたちの人権～平和な世界に向かって～」

●期間:平成22年9月17日(金)～10月17日(日)

人権に関する企画展として、「子どもの権利について」「7人の偉人から人権について考える」「クイズで学ぶ!いま世界で起きていること」の3つをテーマにパネル展を開催しました。来館した子どもたちは、世界中で起きている紛争や核の問題、沖縄の米軍基地の状況など、クイズに答えながら熱心に学んでいました。



(3) 特別企画展「沖縄のこころを世界へ」(八重山会場)

●期間:平成23年1月19日(水)～2月26日(土)

本館開館10周年記念特別企画展として、これまでのあゆみを振り返るとともに新たな10年を展望する展示会を、八重山平和祈念館にて開催しました。

第2部の「資料が語る戦争」コーナーでは、平和学習に役立つ資料紹介として、本館収蔵資料に加え八重山地域の方々から寄贈された資料を展示しました。来館者からは「平和を希求する心を持ち続けたい」「生命を大切さを次世代へ語り継いでいきたい」といった声があり、平和の尊さを再認識する機会となりました。



今年度からワークシートを使った平和学習を行っています

八重山平和祈念館では、より充実した平和学習を行うために新たにワークシートを作成しました。

- 平成22年4月から八重山地域の学校や関係施設に配布し、たくさんの学校に活用していただいております。ワークシートは八重山平和祈念館ホームページからダウンロードできますので、ぜひ学習にお役立て下さい。

《連絡先》

住 所:〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町79番地の3

TEL/FAX:0980-88-6161

URL:<http://www.pref.okinawa.jp/yaeyama-peace-museum/>

E-mail: yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

友の会活動報告書

*平成22年4月～平成23年2月までの活動状況

(1)講話・ガイド活動実績件数 (県外)

団体

団体	実施件数	実施人数	派遣講師
高等学校	31	5,423	38
中学校	13	933	13
小学校	0	0	0
その他	25	1,372	28
計	69	7,728	79

県内

高等学校	中学校	小学校	計
3	3	16	12
2,278	1,614	4,801	8,693
3	3	10	16

県外・県内

合計	81	16,421	95
----	----	--------	----

*平成22年4月～平成23年2月までの活動状況

(1)講話・ガイド活動実績件数 (県外)

(2)2階常設展示室の解説委員

(3)友の会総会 平成22年4月24日(土)

(4)学習会:フィールドワーク 平成22年4月24日(土)

場所:①与座岳・北面の陣地壕 ②字賀数の古井戸
(チーガー)で沖縄戦体験者:伊禮進順氏・
新田重信氏の体験談を聴き学習

(5)協力事業「平和祈念財団」:鯉のぼり掲揚式への協力

(6)協力事業「平和祈念財団」:平和祈念公園愛護活動への協力

(7)協力事業「平和祈念堂」:平和祭への参加

(8)「県立資料館・JICA連体事業」:平和祈念公園・南部戦跡の案内

(9)学習会:フィールドワーク 平成23年2月12日(土)

場所:平和祈念公園内のガイド案内のポイント学習

講師:吉嶺全一氏

講師:大城藤六氏

平成23年度 沖縄県平和祈念資料館年間行事予定



OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL MUSEUM

平成23年度
年間スケジュール

沖縄県平和祈念資料館

Event Schedule
2011.4
▼
2012.3

開館時間
午前9時～午後5時
(常設展示室への入室は午後4時30分まで)

休館日
年末年始(12/29～1/3)、臨時休館日

観覧料(常設展示室)

	個人	団体 (20名以上)
大人	300円	240円
小人	150円	100円

住所 〒901-0333
沖縄県糸満市字摩文仁 614-1

Tel 098-997-3844

Fax 098-997-3947

HP <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp>

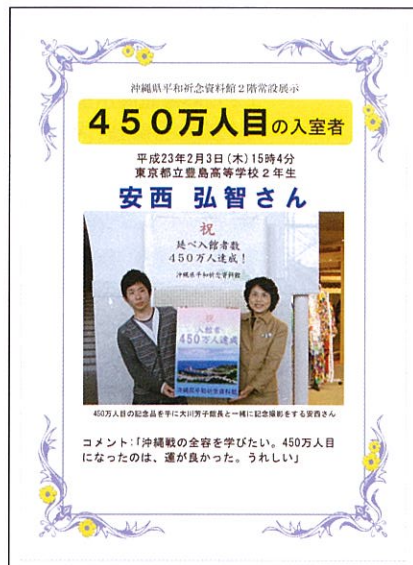
Mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

日	月	火	水	木	金	土	日	企画展	催し物など
4	3	4	5	6	7	8	9		ピースメモリアル グッズ成果発表会 ～5月14日(土)
5	1	2	3	4	5	6	7		◆5日(木) 子供の日ビデオ上映会
6	5	6	7	8	9	10	11	新収蔵品展 6月14日(火)～7月31日(日)	◆23日(木)慰霊の日 入館料無料・ 沖縄戦関連ビデオ上映 ※7月19(火)～21日(木) 館内消毒作業のため 臨時休館予定 ◆夏休み期間中 自由研究相談室
7	3	4	5	6	7	8	9	児童・生徒の 平和メッセージ展 本館 6/23(木)～7/6(水) 八重山 7/13(水)～21(木) 名護 7/27(水)～31(日)	◆8月6日、13日、20日 夏休み子供向け企画 ・ビデオ上映会 ・親子平和学習会 ・自由研究教室
8	7	8	9	10	11	12	13	うるま市 8/2(火)～7(日) 県庁 8/15(月)～19(金)	
9	4	5	6	7	8	9	10		
10	2	3	4	5	6	7	8	特別企画展 「沖縄・アメリカ世の 社会教育」(仮題) 10月10日(月)～12月11日(日)	◆8月6日、13日、20日 夏休み子供向け企画 ・ビデオ上映会 ・親子平和学習会 ・自由研究教室
11	6	7	8	9	10	11	12		
12	4	5	6	7	8	9	10		◆沖縄戦講座
1	1	2	3	4	5	6	7		
2	5	6	7	8	9	10	11	特別企画展「八重山分館移動展」 「沖縄・アメリカ世の 社会教育」(仮題) 1月19日(木)～2月26日(日)	◆資料館講習会
3	4	5	6	7	8	9	10		◆資料館講習会

※●は休館日 ※行事内容・日程は都合により変更になる場合があります。

入館者 450万人目 突破

開館以来、県内外から多くの皆様が当資料館を訪れています。平成23年2月3日(木)には、450万人目のお客様が訪れました。今後も資料館では、より一層、展示・事業の充実を図り、平和を発信する役目を担っていかうと考えています。皆様のご来館を心からお待ちしています。



今年訪れたVIPの方々を紹介します。



皇太子殿下(7月27日)



馬淵澄夫沖縄担当大臣(10月2日)

第20回児童・生徒の平和メッセージ詩部門最優秀賞作品

【高等学校 最優秀賞】
変えてゆく

沖縄県立普天間高等学校 三年 名嘉 司央里

今日おぼたははしあゝ
いじもの日常
当たり前(前)に食事をし
当たり前(前)に好きなことをやる
当たり前(前)に安心して眠りついで
そんな普通の一日
今日おぼたははしあゝ
いじもの日常
当たり前(前)に基地がある
当たり前(前)にへりが飛んでいて
当たり前(前)に爆弾実験が行われている
そんな普通の一日
一見平和に思えるこの小さな島
そこにいつの間にか当たり前ではない
当たり前(前)であってはならないものが
入り込んでしまっていた
普通なら受け入れられない現実を
当たり前(前)に受け入れてしまっていた
これこそ正しいのだから
平凡な幸せを感じながら
あなたに平和を望むま
簡単なこの道は戦を
無視していいのだから
黒いペンキの壁
刻まれるペンキの壁
そっと思い知れ
戦争が残した傷跡の大きさを
何も言わずに任せられた
何も言わずに入れたものなど無かった
すべて失ったものは
今日おぼたははしあゝ
いじもの日常
目を背けてはならない
悲しい負の遺産
それを負から正に返さなきゃ
それがこの遺産を背負い生きてゆく
私達にできること
変えてゆくのは難しい
しかし一人一人が必死
闘いをする戦争を忘るな
正である平和を深く愛する
そんな世界になれば
さうして正の道は正しいはずだ
六月五日 慰霊の日
あの黒いペンキの壁には
たぐんたぐんたぐんが訪れる
そしてこの(一)の壁に触れ
涙を浮かべながら語りかける
「今年も来ないから」
手紙を何枚も折り折りを繰り返して
その訪れを待つ
「平和を願わないものはいい
だか」
「度あつた事は一度ならず」
そんな言葉を聞いたことある
しかしこんな悲惨な出来事は
もう繰り返してほしくない
変えてゆく平和と塗りこむ
その想いはずっと届いてほしいから

資料のご提供について

戦後66年が経ち、戦争を知らない多くの戦後世代へ、悲惨な戦争の教訓を語り継いでいくためには、戦前、戦時中、終戦後の資料等がますます重要な役割を果たしていくこととなります。このような資料をお持ちの方、貴重な思い出の品々かとは存じますが、ご提供をたまわり、今後に活用させていただきますようお願いいたします。

ビデオの貸出について

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」全26巻の貸出しと資料館制作の沖縄戦ビデオ「そしてほくらは生き残った」「やーさん、ひーさん、しからーさん -集団疎開児童の証言-」のビデオの貸出しを行なっています。どうぞ、事前学習等でご活用ください。

見学するにあたって学校等への協力願い

- 来館者が安全で快適な見学が行えるよう、以下のことについて、ご協力をお願い致します。
- ほかの来館者の迷惑にならないようマナーを守り静かに見学しましょう。
- 平和学習を効果的に行うために、引率の先生方も児童・生徒と一緒に見学することをおすすめします。

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1 TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/> E-MAIL webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp